



# 上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



THE MAGIC OF ROTARY



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3048回 例会  
2025. 2. 13

会長あいさつ

週報 No.2281  
発行 2025年 2月 20日

2024-2025年度  
会長 門崎 由幸  
幹事 齋藤 哲雄  
副会長 坂本 忠光  
副幹事 大木 崇寛  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 丹井 亮一

ゲスト  
上尾市市民生活部 市民協働推進課  
副主幹 高垣欣也様

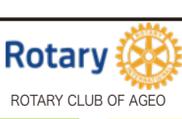
行事予定  
2月27日 1Mに振替  
(例会場・時間変更)  
桶川市民ホール「響の森」  
3月 6日 卓話「水と衛生について」  
上尾市上下水道部  
3月13日 卓話「命をつなぐ水道は私たちが守ります」  
上尾市管工事協同組合  
局長 内田正良様  
3月20日 定款の規定により休会  
3月27日 卓話 上尾商工会議所  
青年部 会長 奥川淳一様  
テーマ スローガン「気合」

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。  
先週の例会では宇多村会員から「北方領土について」をテーマに卓話を披露していただきました。2月7日が北方領土の日でしたが、報道ではあまり採り上げられていないようでした。北方領土の大会も、特に問題なく開催されたという状況で、ただ石破総理は訪米してきて大会には出席していませんでした。1992年から続けてきた北方領土へのビザなし交流は、ウクライナとロシアの紛争があり、2022年より、できていません。今年も目途がたたない状況にあります。このままいくと、ビザなし交流自体もなくなってしまうのかなというように感じられます。おそらく本日の例会主題でも、ウクライナとロシアの問題もでてくるのかなと思います。一日も早く停戦し紛争が解決されることを祈っています。北方領土に行ったことがあるのは、この会場内ではおそらく私だけだと思います。ぜひとも一般市民が北方領土へ行くような状況をつくっていかねばならないのかなと思います。

日本は島国で、20年前までは島の数が6,852島でしたが、国際法が変わり、いま14,125島になっています。島が多ければ多いほど排他的経済水域（EEZ）が広くなり、現在は世界で6番目に広い面積を有しています。ぜひとも海を守っていかねばならないので、今後も活動をしていきたいと思っています。

2月は「平和構築と紛争解決月間」で、本日の例会主題は、上尾市市民生活部 市民協働推進課 高垣欣也副主幹に、上尾野平和事業についての卓話を披露していただきます。今年、戦後80年を迎え、昭和で数えると100年目の節目の年です。上尾市が平和に対してどのような事業を展開しているかを聞き、日本人としてしっかり後世に平和を伝えていかねばいけないかなと思いますので、皆さんにも認識をあらたにしていただきたいと思います。

本日もよろしくお願いたします。



ROTARY CLUB OF AGEO

## 幹事報告

大木 崇寛 副幹事

齋藤幹事が議会中のため欠席となりましたので私から報告させていただきます。  
◇第25回あげお花火大会（仮称）の開催が見送りになったとの通知が届いています。昨今の物価高騰や工期中の堤防周辺に係る安全対策、会場整備などに多額の費用がかかることが避けられない等を鑑みた結果の見送りのことです。  
◇「ロータリークラブセントラルセミナー」の案内が地区から届いています。クラブセントラルへの登録に関するセミナーということで、門崎会長と坂本副会長が参加の予定となっています。  
◇「RYLA研修セミナー」が5月11日と18日、大宮ソニックシティで開催され、参加者募集の案内が届いています。日本が終戦80年を迎えることから、「平和な未来と平和な社会を実現するために」をテーマに掲げ、映画鑑賞、平和フェローによる講演等を行う予定です。LINEグループで改めてご案内させていただきます。



## 例会主題

### 戦後80年を迎える上尾市の取組

上尾市市民生活部 市民協働推進課  
副主幹 高垣欣也様

上尾市として、戦後80年を迎える今年、平和についてどのような事業に取り組んでいくのかというところをお話したいと思います。



皆さんもご記憶に新しいところだと思いますが、昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞されました。被爆をされた方々の団体に、核兵器の廃絶に向けてずっと活動されてきたことが、戦後80年の節目にあたり評価されたということでの受賞です。そういったことも踏まえ、上尾市では非核平和の事業について取り組んでいるところであります。戦争を知っている世代、いま90歳以上の方でない戦争のことはわからないのだと思います。私の父親は81歳で戦時中に生まれてはいるのですが、当然、戦争の記憶はありませんので、戦後の生活が苦しい時の話は聞かされていますが、戦争の悲惨さは学校の授業でしか聞いたことはない状況です。今後ますます戦争体験を語れる方は少なくなっていくので、若者世代を含めてどのように伝えていくかを考えながら事業を進めていきます。

まずは世界の状況からお話したいと思います。ロシアがウクライナに侵攻して3年が経とうとしています。両国それぞれの正義があるのだと思いますが、プーチンが宣戦布告をしてウクライナに攻め込みました。私が小学生の頃、先生方から、21世紀は平和な世紀になると教えられて育ってきました。まだ純粋な子どもだった私はその言葉を真に受けて、21世紀は戦争などない、世界中の人々が手と手を取り合い和気あいあいと生活できる時代がくるものだと思っていました。しかし大人になって21世紀になった2001年9月11日にアメリカで同時多発テロが起こり、21世紀になっても平和にならないことを実感しました。そこから25年が経ちますが、世界のあちこちで紛争が起きています。平和とは、願えば簡単に叶うものではなく、日々の努力が必要なのだ痛感しながら生きています。ロシアがウクライナに侵攻してからの被害状況は防衛相がまとめて資料に



ROTARY CLUB OF AGEO

なっています。死傷者数や被害状況は資料から読み取れますが、実際の犠牲者数など正確な数字はとても把握できていない、それが戦争なんだということです。一刻も早くロシアの侵攻が終わることを願わずにはいられません。  
もう1つ、世界での大きな紛争といえば、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への侵攻があります。イスラム組織のハマスがイスラエルへ攻撃したことを発端にして、イスラエルが報復で空爆や軍事侵攻を行ったのですが、もともとはその地でユダヤ人とアラブ人が共に生活していくために、ユダヤ人の入植をヨーロッパ諸国やアメリカが認めてきたことに対して、アラブ人が反発をしました。それを欧米は見ても見ないふりをし、軋轢がどんどん大きくなっていて、爆発したのが今回のハマスの攻撃です。それを口実にイスラエルが宣戦布告をしてガザ地区に攻め込んだのが現状です。相当数の方がお亡くなりになっておられます。いまちょうど停戦が整っています。このまま休戦が継続することを願っています。  
そのほかアフリカでは内戦があるなど世界各地で紛争が起きています中、上尾市の状況をお伝えします。太平洋戦争の際に、上尾市はそれほど大きな被害はなく、大石地区で空爆が何回あった程度だと聞いております。東京や熊谷の大空襲、広島、長崎の原爆投下と比べて被害は大きくなかったのは不幸中の幸いだったと思います。上尾の戦後の復興は駅前に戦前からあった昭和産業のほかに、東邦レース、ブリヂストンサイクルなどが進出し、昭和36年に日産ディーゼルが老丁目に進出工業都市として発展してきました。まちの発展が続く中、昭和60年、戦後40年の節目の年に非核平和都市宣言をし、平成23年には平和首長会議への加盟をしています。  
現在の以上尾市での取り組みについて説明します。まず、1点目として各団体の平和行進への対応をし

ています。各平和団体が終戦の日の前、7月後半から8月前半に平和更新をしています。ピースサイクル運動、原水爆国民平和行進、平和の火リレー、の3団体は県内の各市役所等を回り平和についてPRをされています。私どもも市役所のピロティにてお迎えし、市長が激励をお伝えしています。夏の暑いなさなかですので、ささやかですがそれでも、お水を渡しています。市長の都合がつかない場合は、課長が激励を読み上げお伝えするなど、市民協働推進課が対応しています。

上尾市の2つ目の取組として「非核平和パネル展」を実施しています。内容はパネルの展示、実物資料の展示、戦争体験記の朗読、今は戦後80年に向けて広島市へ贈る折り鶴コーナーの設置があります。パネル展は、さかのぼると昭和60年から実施しているようです。非核平和パネル展の実績では、昨年の令和6年は、7月26日から8月20日にかけて、平方公民館、アリオ上尾、市役所ギャラリー、上平公民館の順に開催し、来場者数は、過去最多の981名を記録したところです。

上尾市が、戦後の節目の年にそれぞれどのような取り組みをしてきたか、ご紹介します。戦後50年（平成7年）には、市民による埼玉県平和資料館の見学、「広島市民が描いた原爆の絵」の展示、小中学生による平和標語の決定を行いました。戦後60年（平成17年）には非核平和パネル展を行いました。戦後70年（平成27年）には戦後70年平和コンサートとして、小学生の合唱、中学生による平和朗読、ピアノ高橋多佳子さんによる演奏を行いました。

そして今年、戦後80年を迎えるにあたり、戦争経験者が少なくなっている中で、平和の尊さを知ること、とりわけ若者世代へ伝えることの大切さの必要性を認識し、そのあたりを考えながら取り組んでいきたいと思っています。議会での承認をいただく



非核平和パネル展  
平方公民館で  
2024年7月26日～8月2日開催



非核平和パネル展  
アリオ上尾で  
2024年8月5日～8月12日開催

前なので、すべて予定となつてしまいますが、平和コンサートと映画上映、市内中学生による平和ポスターの作成・展示、広島市へ千羽鶴の寄贈を今現在企画しています。会場はコミュニティセンターで、8月最後の日曜日での実施を進めています。  
最後になりますが、上尾市非核平和都市宣言を読み上げたいと思います。

### <上尾市非核平和都市宣言>

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いである。しかし、今なお、多くの核兵器が造られ、世界の各地で武力紛争や戦争が絶えない。  
わが国は、世界唯一の被爆国として、全世界の人々に被爆の恐ろしさ、被爆の苦しみを訴え、再びこの地球上に被爆の惨禍を繰り返さずしてはならない。  
われわれは、生命の尊厳を深く認識し、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍備縮小を求めるものである。  
よって、被爆40周年に際し、上尾市は戦争のない、住みよいあすの世界を願い、ここに「非核平和都市」の宣言をする。

この宣言は40年前に書かれたものですが、現状は何も変わっていないんだと、私は非常に残念に思っています。ですので、平和というのは簡単に願っているだけでは作れない、常に皆さまが意識して平和について考えていないと、平和は維持できないのだと思います。先ほど初めてロータリーソング『奉仕の理想』をお聞きしたら、歌詞の中に「望むは世界の永遠の平和」とありました。皆さまが今、平和な世界を築いていかねばいけないと思いつけることが、平和の維持になるのだと思います。上尾市も平和について取り組んでいきますので、引き続き皆さま方のご協力をお願いいたします。



**スマイル** 高垣欣也副主幹様、卓話いただき、ありがとうございました。

門崎会長 上尾市市民生活部 市民協働推進課 副主幹 高垣欣也様  
卓話いただき、ありがとうございます。

長沼会員 今、観光協会の推奨土産品 市民セレクション エントリー  
動画を制作しています。新しい推奨土産品にご期待ください！

坂本副会長／大木崇寛副幹事／大塚信一郎会員／尾花会員／大木保司会員／  
大塚崇行会員／島村会員／齋藤博重会員／藤村会員／山崎会員

出席率	
会員数	33
出席免除	3
出席対象者	30
出席者数	12
40.00%	

例会日 毎週木曜日12:30～13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303  
例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799